



インタビュー 3

地域で出た資源を 地域でリサイクル

中川原環境部長 加藤朝春さん あさはる

中川原は平成13年5月、いつでも資源ごみを持ち込むことができるリサイクルセンターを設置しました。持ち込み品は2週間おきに当番者が分別や分砕をし、それらをリサイクルして作った紙ひもや廃食油石けんを無償配布することで、ごみの減量化、再資源化を進めています。

「昨年度から当番の組の方は、ほぼ全戸の方が協力してくれるようになりました。みんなで取り組むことで分別作業は早くなるし、何より分別方法や分別の大切さがわかるので、一人ひとりの意識が高まると考えたからです。『混ぜればごみ、分ければ資源』なんです。家庭でのちょっとした意識で、ごみとしてしまわずに資源としてリサイクルすることができます。今後の目標は、生ごみの堆肥化に力を入れることと、中川原はモデル地区として資源リサイクルを進めているので、これを他の地区にも広げて、

松前町全体での取り組み
にすることです」



リサイクル品は
無償配布



Case 2

モデル地区で ごみ分別を徹底

町内の家庭から出る可燃ごみは、年間約5,300トンで、そのほとんどが伊予市にある伊予地区清掃センターで焼却されています。これらのごみの減量化、再資源化を進めていくため、平成13年度から中川原地区がごみ減量対策等モデル地区として、リサイクル活動に取り組んでいます。

Case 3

せんてい枝を 堆肥化する

これまで、家庭から出るせんてい枝は可燃ごみとして焼却されてきました。その量は多く、年間580トン。それを廃棄物系バイオマスとして利活用できるようにと、平成18年度より資源ごみとして分別収集し、町内の農業生産法人(有)あぐりに搬入しています。運ばれたせんてい枝は、処理施

せんてい枝 ～土壌改良材

設で微生物によって発酵され、土壌改良材として町内の農地で再利用されています。



町のごみ分別収集



せんてい枝処理施設



土壌改良材

Case 4

てんぷら油から バイオディーゼル 燃料を作る

町では、家庭から出るてんぷら油を、役場庁舎、東・西・北公民館の4か所に回収ボックスを設置して回収しています。回収された油は、変換施設でバイオディーゼル燃料に精製されています。

てんぷら油の回収に ご協力ください



対象 菜種、大豆、コーンなどの植物性食用油
回収方法 天かすなどの不純物を取り除き、回収ボックスに入れてください。また、持ち運びに使う容器は持ち帰り、繰り返し使ってください。

☆ 回収場所には、専用の容器(ポリタンク5リットル、2リットル)を用意していますので、ご利用ください。